

9月の農作業管理

柑橘

病虫害防除

「一果入魂」こだわりを持った生産管理に努めよう

時期	対象病虫害	品 種	薬 剤 名
9月中旬	カメムシ(発生園)	全品種	ダントツ水溶剤 4,000倍 又は テルスターフロアブル 6,000倍 ※収穫前日数：前日まで
9月下旬	貯蔵病害	極早生	トップジンM水和剤 2,000倍 ※収穫前日数：前日まで

※ 農薬使用基準を守って適正使用に心がけて行って下さい。

◎かいよう病防除

台風襲来前に

コサイド3000 2,000倍+クレフノン 200倍

又は

クプロシールドフロアブル 2,000倍

※通常防除と7~10日間隔をあけて散布して下さい。

浮皮対策と品質向上対策

浮皮防止としてマイルドカルシウム、品質向上対策としてリンクエース、養水分吸収抑制としてフィガロン乳剤の散布に努めましょう。

【1回目】 極早生・早生 9月上旬 高糖系・普通 9月中旬	【2回目】 極早生・早生 10月上旬 高糖系・普通 10月上旬
フィガロン乳剤 3,000倍 マイルドカルシウム 600倍 リンクエース 2,000倍	マイルドカルシウム 600倍 リンクエース 2,000倍

※樹勢の低下した園では、フィガロン乳剤の使用を控える。

※フィガロン乳剤を摘果剤・熟期促進で2回以上使用している場合は、マイルドカルシウム、リンクエースのみ散布して下さい。

浮皮防止

中生9月中旬、高糖系(1月中旬以降出荷用) 9月中下旬

ジャスモメート液剤 2,000倍 + ジベレリン液剤 5,000倍

※ジベレリン液剤を散布すると着色が遅れます。

◎かん水の実施

せとみ、デコポン==無降雨日数10日を目安にかん水する。

※1樹あたりのかん水量(成木園) 100ℓ

仕上げ摘果

- 極早生の樹上選果・・・・・・早急に実施。
- 早生・中生・普通の仕上摘果・・肥大状況を確認し適正適果を進める。
- 高糖系の仕上摘果・・・・・・下向きの果実を残す。
- 大玉果の摘果（上向きの太い果梗枝の果実は10月下旬に基部から切除）

落葉果樹

	病害虫	防除薬剤	重点管理（秋肥、土壌改良）
西条柿	炭そ病 うどんこ病	ストビドマイワブル 3,000倍	ヨウリン1袋/10a 柑橘有機配合1号 4袋/10a(10月下旬)
キウイ	カメムシ 軟腐病	ダントツ水溶剤 4,000倍 トップジンM水和剤 1,000倍	柑橘有機配合1号 4袋/10a(10月下旬)
梅	苦土石灰4袋/10a 柑橘有機配合1号 3袋/10a(10月下旬)		

※キウイの防除には必ず展着剤を加用散布する

野菜

秋まき野菜の播種

作物名		ダイコン	ホウレンソウ	パレイショ	タマネギ
播種時期		9月上旬	9月上旬	9月上旬	9月中旬
畝幅 (cm)		100	60	60	90
畝の高さ (cm)		10	10	20	10
条数 (条)		2	4	2	—
株間 (cm)		40	1~2	30	1~1.5
元肥	完熟堆肥kg/m ²	3	3	3	1
	苦土石灰 g/m ²	100	200	50	100
	8・8・8号 g/m ²	100	100	100	120
	BM 重焼燐 g/m ²	—	—	—	40

ダイコンの播種時にジェイエース粒剤を1~2g/株に施用しましょう。キャベツ、ホウレンソウ、タマネギ苗床には播種時にダイアジノン粒剤を3~5g/株に施用しましょう。（間引き菜として食用する場合は使用を避けましょう）

水稻

品 種	作業内容	
コシヒカリ ひとめぼれ きぬむすめ ヒノヒカリ	刈取り	圃場の90%程度が黄化したころ。一穂に10~15%程度青籾が残っている時
	乾燥調整	14.5%~15%に水分調整する